

市民要望に市長が回答

3年ぶりの「議会と語る会」

本市議会は令和4年10月、市内11地区のコミュニティ推進協議会ごとに「議会報告会」を開きました。各会場で出された質問に対し、市長から回答をいただきましたので、その一部を紹介します。

【介護施設】 介護施設が少ない。市西側の地区にも施設が増えないか検討してほしい。

回答 地域密着型サービスを担う小規模多機能型居宅介護施設の整備を目指し、公募を実施しているところだが、これまで応募がない。現在市内の2つの施設が人手不足のため休所となっており、今後も国や県とも連携しながら介護人材の確保、事業者の参入に向けた環境整備に取り組む。

【資材等の価格高騰に伴う対策】 肥料価格、生産資材等が高騰している中で、米価は低下しているため対策を講じてほしい。

回答 本市では新型コロナや物価高騰の影響を受けている農業者への支援金の交付をはじめ、

国の経営継続支援助成への独自かさ上げ、米価下落を受けた食用米販売農家への支援、原油高騰による施設園芸事業者向け支援などを行った。新たに販売農家への「肥料高騰対策支援事業補助金」や、土地改良区等への「電気料高騰対策支援事業補助金」の物価高騰対策とともに、主食用米販売農家への「農業収入減少対策支援事業補助金」を実施していく。

【校舎の利活用と環境整備】 旧矢作小学校の利活用について、地元民に検討して欲しいとの声がある。市としても今後の方針について検討してほしい。

回答 旧矢作小学校は平成25年度から復興交付金を活用して二又復興交流促進センターとして活用していたが、令和2年度

で利用を停止している。校舎については建物の老朽化が激しいため、復興交付金の精算処理が終わった後、解体等を含めた旧矢作小学校敷地全体として利活用を図るべく今後検討を行う。

【通学路】 小中学校通学路の安全性を確保してほしい。嶋部市内の市道において、大型車両の通行が規制されない限り自力通学は危険と思つた。

回答 通学路の安全性確保については、毎年度、市や県警交通安全協会地区分会等関係者が一堂に会して「通学路点検」を実施し、危険箇所の抽出や道路標識の整備の是非などの検討を行い、県公安委員会や道路管理者への要望している。市道今泉下矢作線の通学路整備については、防災安全交付金を活用して整備予定だが、気仙川改修計画との調整が必要のため、今後県と協議を進める。整備には時間を要することから大型車両の

規制について公安委員会と協議する。

【避難状況】 避難指示等を発令する際には、何が原因でどこへ避難するか明確にわかるように伝えてほしい。

【燃料費】 ガソリンを始めとした燃料費が内陸に比べ高額なため、同水準になるように働きかけてほしい。

回答 警戒レベル3の高齢者等避難は、台風等の接近が見込まれる早い段階で発令している。一方、災害の危険が迫っている場合であるレベル4の避難指示については、より具体的な危険箇所等と併せて避難情報を発信しており、今後も明確で分かりやすい情報発信に努める。また、市では、土砂災害・洪水ハザードマップ、津波防災マップ及び避難マニュアルを各世帯に配付し、市ホームページや出前講座等により、避難情報の周知を図っている。市民自らマップ等により、危険箇所、避難場所、平常時の備えを確認してもらえよう、防災意識の向上を図られるよう普及啓発に取り組む。



燃料費が高騰

コスト等を勘案し、民間による価格決定が行われており、行政による介入は限界があるものの、市民生活に大きな影響を及ぼすため、県石油商業協同組合等関係機関に対し、機を見て働きかける。

【移住定住支援について】 若い方々が移住しているが、移住定住の支援策を講じ、応援体制を確立してほしい。

回答 移住定住に係る支援については、移住者の住居取得費等に最大100万円を支援する



移住定住を支援

独自の補助制度を設けているほか、NPO法人高田暮舎に移住コンシェルジュを配置し、移住前の相談対応から移住後のフォローアップ、移住者交流会の企画等を実施している。これらの事業が一定の成果に繋がっているため、引き続き関係機関と連携し、移住定住の拡大に向けた支援を図る。

【雑草の除去】 かさ上げ地の土地や移転元地等の空き地の雑草が繁茂している。生活環境や景観を維持するため、市所有の土地の管理を適正に行うとともに、民地についても指導していただきたい。

回答 雑草の繁茂等により周辺に悪影響を及ぼすため、適切

な土地の維持管理について機会をとらえ所有者に伝える。かさ上げ地や高台の市有地については、年1回程度の除草を基本としつつ、土地の状況を見ながら適切に維持管理していくよう努める。また、防集移転元地について、要望があった箇所の定期的な除草の実施及び除草を実施した自治団体への補助を行いながら、移転元地の利活用を進め、適正な管理を行う。

【橋梁の改善】 浜田川に架かる橋梁が道路と鋭角に交差しているため、車両が円滑に曲進できず、切り返さなければならぬ箇所が存在する。安全な通行を確保するため、鋭角部を切削するなどの対策を講じてほしい。

回答 要望を受けた橋梁の一部改良を検討したが、浜田川への構造物の占用が必須であるため河川管理者である県と協議を行った結果、構造物設置不可との回答となり、橋梁の改良が実施できない状態だ。そのため、橋梁出口付近の拡幅等を検討していくが、道路線形の安全性を確保するために大規模な工事となることから用地買収や予算の

確保が必要となり早期の対応は難しい。

【グリーンスローモビリティの運用】 グリーンスローモビリティは、高齢者を始めとした交通手段の確保が必要な方々にとって、より利便な形で運用するため、公営住宅以外の場所の追加を検討してほしい。

回答 グリーンスローモビリティについては、平日便において今泉団地及び中田団地を発着点として中心市街地との循環運行を行っているが、地域や利用者の方の声を伺いながら、より利用しやすい運用となるよう、運行主体である一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティと連携しながら、ルート見直し等を検討していく。

【三陸花火大会】 花火大会は本市や周辺自治体への波及効果が大きい。市が共催になつていくため、現状の課題について把握して、より良いイベントにしてほしい。

回答 令和4年10月に開催された三陸花火競技大会は、駐車場運営トラブル等により交通渋滞が発生し、花火を楽しむに

していた多くの方々、並びに市民の皆様にご迷惑をお掛けした。今後、全国植樹祭等の大規模イベントも想定し、高田地区及び今泉地区等の平地部について、駐車場の整備を行い、同様のトラブルが発生しないよう対策を進めていく。



花火大会

